英数字などでは手書きの場合紛らわしい字が多い。ノートや実験レポート、答案に書く場合に、他人が読むことを考えて（後で自分も読むことも考えて！）、区別できるような字を書こう。
過去の経験から、次のような書き方が定着しているので、練習してそのような書き方に慣れておこう

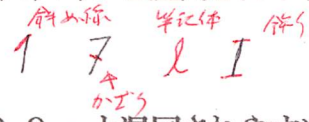
1. 英小文字は基本的に筆記体で書く(例外は r)

a b (b) c d e f (f) g h i j k l

m n o p q r s (s) t u v w x y z (z)

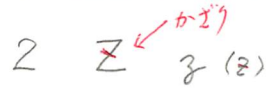
2. 次のような英数字が紛らわしいことがわかっているので区別の仕方を学ぼう

(1) 1： 1, 7, l , I と混同されやすい

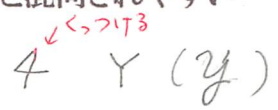


(2) 0： D, O, o と混同されやすい

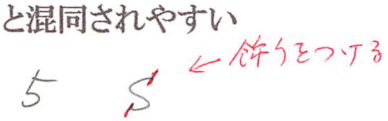
(3) 2： Z, z と混同されやすい

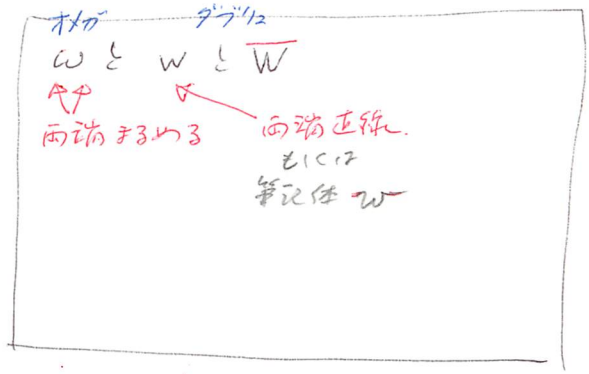


(4) 4：Y と混同されやすい

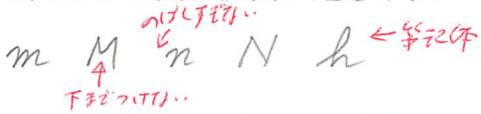


(5) 5：S と混同されやすい

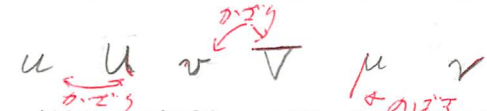




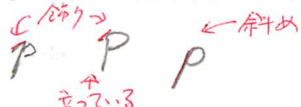
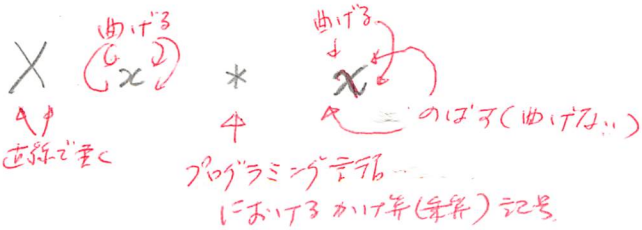
(6) m, M, n, N、h の間の混同が起きやすい　小文字は筆記体 大文字は活字体が基本



(7) u, U, v, V, μ(ギリシャ文字), ν(ギリシャ文字)　の間の混同が起きやすい



(8) p, P, ρ(ギリシャ文字)　の間の混同が起きやすい



(9) X, x, ×(掛け算)、χ(ギリシャ文字) の間の混同が起きやすい